

# 第2次 日進市環境基本計画 概要版 2024~2030

## 環境都市像

### 日進月歩 住環境と自然が調和するまち にっしん

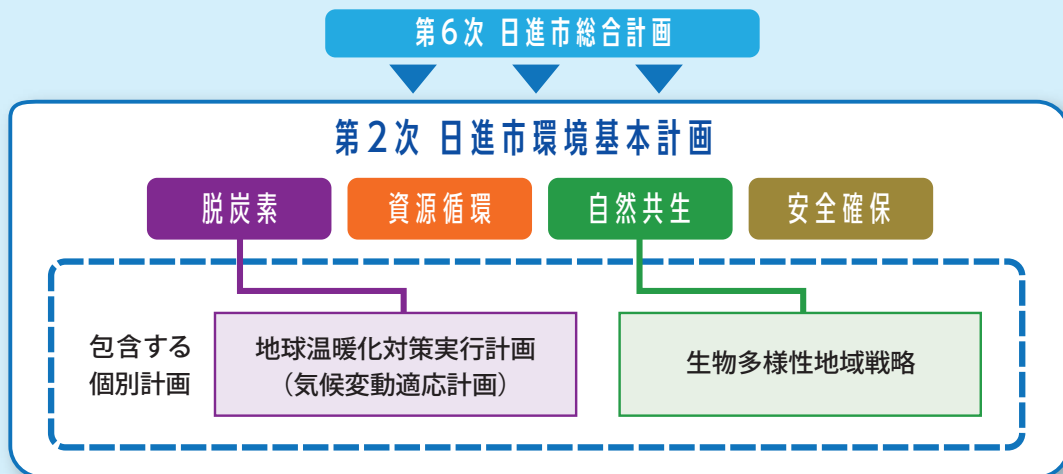
たゆまぬ“日進月歩”の取組によって、わがまち日進を将来世代にわたって「住環境と自然が調和するまち」にし、だれもが豊かな生活環境を享受し、健やかで心豊かに暮らしていけるまちを目指します。

## 計画の期間

2024年度～2030年度までの7年間を計画期間とします。上位計画である「第6次日進市総合計画」や国・県の計画・戦略とあわせて、目標年度を2030年度とします。

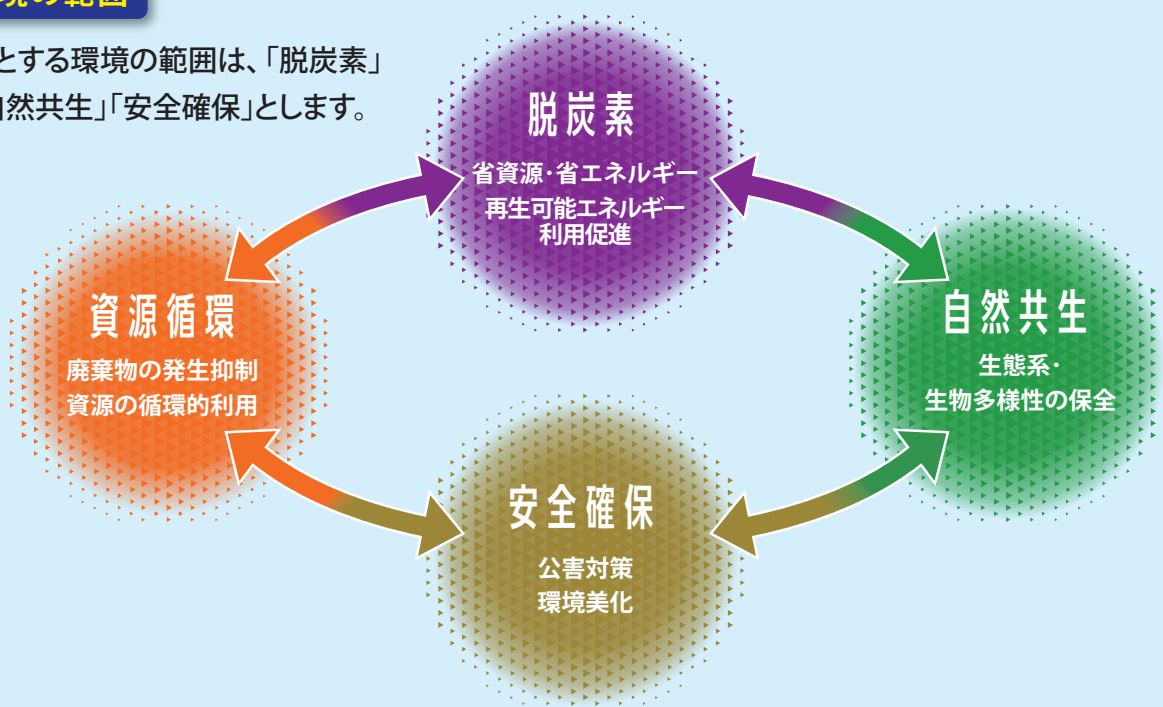
## 計画の位置づけ

本計画は、上位計画である「第6次日進市総合計画」と整合性を図りながら、環境分野に係る行政施策・取組を定めるものです。また、「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」、「生物多様性地域戦略」を包含し、一体的に作成しています。



## 対象とする環境の範囲

本計画の対象とする環境の範囲は、「脱炭素」「資源循環」「自然共生」「安全確保」とします。



**計画の概要** 目指す環境都市像の実現に向け、4つの環境目標の下で施策を推進します。



第6次 日進市総合計画 2021~2030

ともに暮らす 私たちがつないで創る 人とみどりを大切にすまちなち 日進

日進月歩 住環境と自然が調和するまちなち につしん

持続可能な開発目標 SDGs ~ Transforming Our World ~

本計画は「持続可能な開発目標(SDGs)」の考え方に沿って策定しています。

**環境目標 1**

脱炭素社会づくり  
温室効果ガス排出量の削減を推進します。

**成果指標**

- 二酸化炭素排出量削減率(2013年度比)  
現状値 18.1% (2020年度) → 目標値 46% (2030年度)
- 再生可能エネルギー導入率  
現状値 16.9% (2021年度) → 目標値 26% (2030年度)
- 次世代自動車普及率  
現状値 0.98% (2022年度) → 目標値 20% (2030年度)

**1-1** さらに省エネルギーを進めます。  
①省エネ性能の高い設備・機器の導入 / ②建物の省エネ化の促進 / ③自動車の省エネ化の促進 / ④暮らしの省エネ化の促進 / ⑤市役所における率先した取組

**1-2** 再生可能エネルギーの利用を進めます。  
①太陽光発電設備の導入 / ②再生可能エネルギーの利用促進

**1-3** 脱炭素型のまちへの転換を進めます。  
①公共交通等の利用促進 / ②ごみの減量 / ③地産地消の推進 / ④緑の保全・創出

**環境目標 2**

循環型社会づくり  
ごみの発生を抑え、資源の循環利用を高めます。

**成果指標**

- 年間のごみ排出量  
現状値 21,104 t (2022年度) → 目標値 19,729 t (2030年度)
- 1人1日当たり家庭系ごみ量  
現状値 458 g/人・日 (2022年度) → 目標値 393 g/人・日 (2030年度)
- リサイクル可能品目混入率  
現状値 29.2% (2022年度) → 目標値 11.7% (2030年度)

**2-1** ごみの発生を抑えます。  
①生ごみの減量化の促進 / ②食品ロス削減の促進 / ③事業所等におけるごみ減量化の促進

**2-2** さらに再利用・資源化を進めます。  
①紙・プラスチックリサイクルの促進 / ②資源回収機会の充実 / ③民間サービス等を活用した資源化の促進

**2-3** ごみを適正に処理します。  
①DXを利用したごみの適時・適正な排出・分別・収集の促進 / ②事業所等における適正な処理の徹底

**環境目標 3**

自然共生社会づくり  
身近な自然を大切に、自然の恵みを将来に継承します。

**成果指標**

- 自然環境に関する環境講座への延べ参加人数  
目標値 3,500人 (計画期間の延べ参加人数)
- 生物多様性の大切さを意識している市民の割合  
現状値 55% (2022年度) → 目標値 60% (2030年度)
- 自然共生サイト認定数  
目標値 3ヶ所 (2030年度)

**3-1** 生態系・生物多様性への関心を高めます。  
①生態系・生物多様性の重要性についての理解促進 (啓発活動、ESD講座等) / ②希少野生動物植物種の保全と外来種の対策

**3-2** 水・緑・自然を保全します。  
①自然環境調査(水生生物調査) / ②生態系の保全 / ③農地・ため池の保全 / ④東部丘陵地等の保全

**環境目標 4**

安全が確保される社会づくり  
安全・安心で、良好な生活環境を守り育てます。

**成果指標**

- 汚水処理人口普及率  
現状値 91.9% (2022年度) → 目標値 100% (2030年度)
- 生活環境に関する苦情処理件数  
現状値 91件 (2022年度) → 目標値 73件 (2030年度)
- 公害対策に対する満足度  
現状値 48% (2022年度) → 目標値 55% (2030年度)

**4-1** 良好な生活環境を保全します。  
①環境調査・監視等の実施 / ②地域の環境衛生の向上 / ③産業型公害と生活型公害の防止(指導・助言・啓発等) / ④不法投棄の防止(指導・啓発等) / ⑤生活排水対策の推進

**4-2** まちの環境美化を進めます。  
①市民参加による環境美化活動の促進 / ②ポイ捨て等の防止のための暮らしのマナー向上

行動する人づくり・地域づくり

行動する人を増やし、ともに活動する

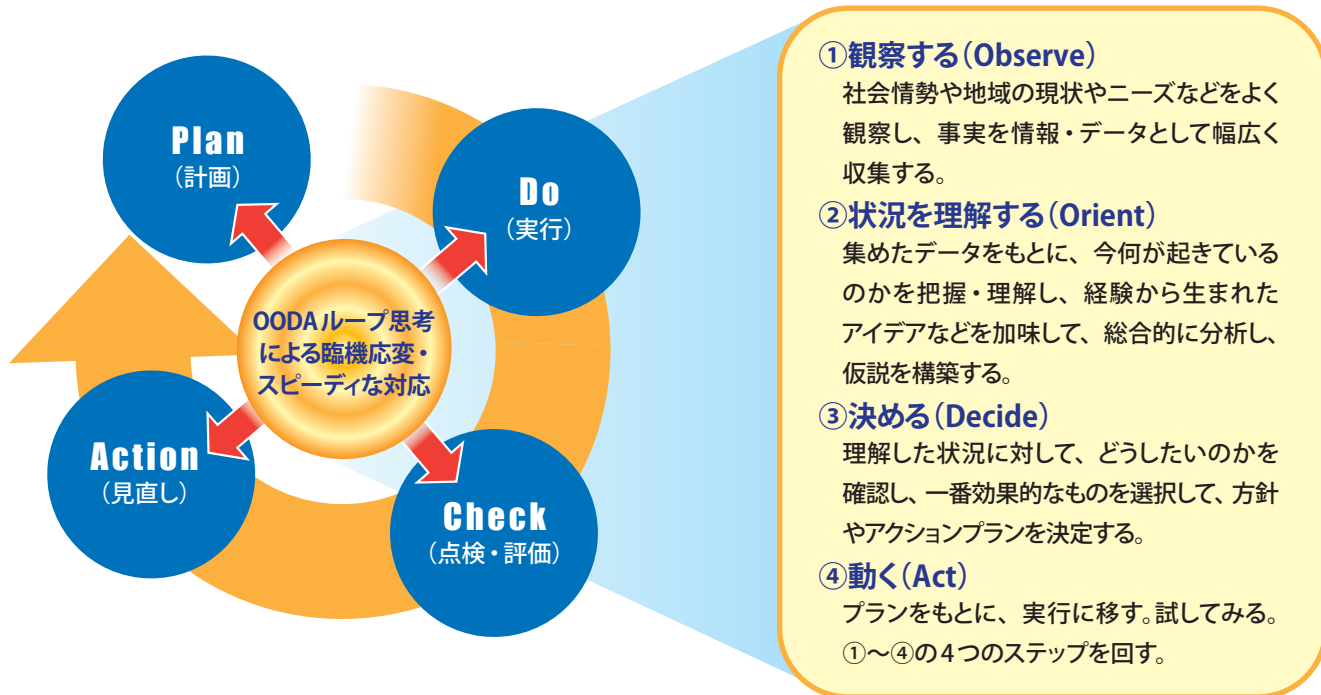
- (1) につしんESD事業の推進
- (2) 学校における環境教育の推進
- (3) 一人ひとりの環境行動の推進
- (4) マルチパートナーシップの推進

計画の進行管理

PDCAサイクルによる進行管理を行い、施策・取組の継続的な改善を進めていきます。毎年の取組の定量的評価と定性的評価を行うものとし、毎年、環境基本計画年次報告書を作成し、公表します。

PDCAサイクルによるマネジメントに加えて、観察と状況判断から始めることを重視したOODA (ウーダ) ループ※の考え方を必要に応じて取り入れ、社会情勢の変化に対し、柔軟で臨機応変な対応により、計画を推進していきます。

計画の進行管理の概念図 (PDCA サイクル)



※ OODAループ: 「観察する (Observe)」「状況を理解する (Orient)」「決める (Decide)」「動く (Act)」の頭文字をとった言葉。その時々状況に応じて素早く判断をし、意思決定していく手法。

計画の推進体制

